

柳澤 信夫・柴崎 浩
神経生理を学ぶ人のために

(B 5 判 322 頁 8,240 円 (税込) 1990 年 医学書院 刊)

木村 淳
(京都大学医学部神経内科)

本書は本邦の臨床電気生理学の権威 2 人によって書かれた初学者のための入門書である。書名は平野朝雄博士の著書「神経病理を学ぶ人のために」を連想させるが、同書に比しても負けない内容をもっている。

前半は柳澤博士が主に筋電図部門を、後半を柴崎博士が脳波誘発電位部門を執筆されており、全体

としてもよく統一がとれている。

従来、この分野では多数の著者によるオムニバスの成書が多い中で、バランスのとれた通読のできるものとなっている。各章はそれぞれの検査に必要な基礎知識から実際に至るまで、簡潔にわかりやすく述べられており、初学者が電気生理学的な検査全体の概略を短時間に把握することができるよ

う細かく配慮がなされている。このような美点をもつため不可避のこととは思われるが、検査項目別のみならず、疾患別に見たより臨床的なアプローチもあるいは初学者にとって有用ではないかと感じる。また、簡潔さと相反することではあるが、神経生理学を勉強する上でのわくわくするような興奮がもう少し伝わっても良いのではないかとも思われる。

しかしながら、本書の目的である初学者のための簡潔な教科書としての目的は十分に達成されており、広く万人に推薦できる 1 冊である。